



荒川区立幼稚園の方向性について(素案)のパブコメ結果は

区教委が少子化や就労環境の多様化などを理由に、区立幼稚園 8 園とこども園(幼稚園部分)のうち 5 園を廃止するとして「荒川区立幼稚園の方向性について(素案)」8月26日荒川区教育委員会、31日には区議会の文教・子育て支援委員会でのパブリックコメントの結果と、最終案が示されました。

日本共産党荒川区議団の懇談会(8月28日)

全国幼年教育研究協議会・集団づくり部会代表世話人で墨田区の保育士を務める高橋光行さんからの話、幼稚園、保育園の保護者、保育士、小学校教員の方々から発言をいただきました。雨天の中、ご参加いただいた皆様ありがとうございました。少子化だからこそ、教育・保育の「質」を向上させることが求められていると改めて感じました。

高橋さんからは

区立園には地域の標準的な保育・教育を行う役割がある。

直営だからこそ利点。幼稚園廃園計画には子どもの目線が欠けている。住民運動で計画見直しが可能と力強いお話がありました。

保護者からは

区の幼児教育は評判が良く保護者も成長できた。全園延長教育となれば近くの幼稚園に通える。集団教育の良さはあるが、少人数で手厚くみてもらえるのがありがたい。区は区立園の良さを伝えきれているか。日暮里地域での再開発進めるなら受け皿必要。東日暮里は残すべき。民間保育園の現状報告も。



保育士、小学校教諭からは

保育・教育基準改善、質の向上を求める。コロナ禍のなかでの保育・教育を行うご苦労から、行政が責任を持っていくことの大切さが語られました。

パブコメの結果

意見提出者:261名

意見の数:476件



内訳:幼稚園教育内容の充実(198件)、
閉園反対(137件)、私立幼稚園との連携(25件)

パブコメを受けて最終案に追記した内容

1. 給食提供の早期実施の検討
2. 特別な支援を要する園児への支援の検討
(送迎、私立園との連携)
3. 再配置の考え方の明確化
4. 閉園後の施設の有効活用
(併設校特別支援学級などの配置検討)

パブコメ実施結果は意見提出者数、意見数ともに過去最多でした。閉園反対の意見が大多数なのに、5園の廃園計画は最終案にそのまま残りました。反映された意見は45件。給食提供の早期実施や一部送迎検討など、改善部分もありますが、「参考として受け止める」とされた意見は368件。パブコメ本来の趣旨を考えると、廃園計画は見直しが必要ではないでしょうか。引き続き、皆様のご意見をお寄せください。

発行: 日本共産党議員団 TEL: 3802-4627 FAX: 3806-9246

e-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所>

荒川区西尾久2-4-8メゾン・ド・ポラリス1階

TEL&FAX: 3894-6668



高齢者用区営住宅「空き室待ち登録者」の募集 9月1日から

9月1日からさくらハイツ(高齢者用区営住宅)の募集が始まります。昨年の登録は15件、そのうち入居は12人(現時点)です。賃貸住宅に住まう高齢者は、年を重ねるごとに住宅を探すのが難しくなりお困りでしょう。だれもが安心して快適に入居できる住宅をもっと増やしていきたいです。

【問合せ】福祉部福祉推進課地域福祉係 電話番号:03-3802-3111(内線:2615)



コロナ感染者荒川区5人に1人が感染 後遺症の相談は

前回の区政ニュースで新型コロナウイルス感染症にかかった区民が累計で43,000人を超えて5人に1人が感染している状況をお伝えしましたが、8月26日時点では45,221人となりました。

先日、北村あや子事務所で行った「なんでも相談会」では後遺症に関わる相談が寄せられました。嗅覚・味覚障害が出て回復しない、倦怠感や咳が続く、わらをもすがる思いで保険外診療を受けているが金銭的に厳しい、職場で後遺症を打ち明けられず仕事がつらい…。

都立・公社病院における

「コロナ後遺症相談窓口」



都立病院	大塚病院	☎ 03-3941-3211(代表)
	駒込病院	☎ 080-5933-4582(直通)
	墨東病院 ※予約制	☎ 03-3633-6151(代表)
	多摩総合医療センター	☎ 042-312-9163(直通)
東京都保健医療公社病院	東部地域病院	☎ 03-5682-5111(代表)
	多摩南部地域病院	☎ 042-338-5111(代表)
	大久保病院	☎ 03-5273-7711(代表)
	多摩北部医療センター	☎ 042-306-3161(直通)

東京都作成後遺症リーフレットより

※受付時間等はwebサイトでご確認ください。



都立病院や民間病院でコロナ後遺症の専門外来がありますが、予約がとりづらい、働きながら通い続けられないなどの状況もあります。東京都の相談窓口(左枠)や、通いながれた診療所、クリニックで症状を伝えてみてはいかがでしょうか。

後遺症の改善に漢方が処方される場合も多いようです。嗅覚障害にはアロマオイルを使ったりハビリをすすめられた方もいます。新型コロナウイルスの後遺症に有効と言われる治療方法でも、今のところ保険外の自費診療になるものが多いのが実情です。働きながら治療するためにも、職場の理解も必要です。

コロナ感染対策とともに今後、後遺症に苦しむ方々にどう寄り添えばよいのか、まずは後遺症についても状況把握が必要ではないでしょうか。

東京都のPCR等検査無料化事業9月以降も実施

感染不安がある、無症状の都民の方が利用できるPCR等の無料検査は当面継続されることになりました。なお、濃厚接触者、発熱症状のある方は医療機関で受診・検査を受けてください。

<尾久地域の検査事業実施場所>

- *熊野前アクト21(荒川区連携木下グループ新型コロナ検査センター)東尾久 5-9-3【要ネット予約】
- *PCR 検査センター東京ラボ・コロナバスター西尾久店 西尾久 7-7-4【要電話予約】03-6807-7860
- *有限会社東京ツーリスト 東尾久 6-8-3【予約不要】
- *きらら薬局 西尾久 2-4-18【要ネット予約】

日時: **9月16日(金)** 18:30~20:00

TEL&FAX: 03-3894-6668 **要予約**

会場: **北村あや子事務所** (西尾久2-4-8)

日々の生活、仕事…ひとりで悩まずご相談ください。

弁護士と北村が相談をうかがいます。生活相談はいつでもどうぞ。



法律
HOURITSU SOUDAN
相談